



Personal solutions
for everyday life.

糖尿病と上手につきあうために
—糖尿病を正しく知る—

Section 4

糖尿病の急性合併症

監修: 東京女子医科大学 糖尿病センター
センター長 内湯 安子

Section 4

糖尿病の急性合併症

- 4-1 糖尿病昏睡(高血糖昏睡)
- 4-2 急性感染症
- 4-3 低血糖



Personal solutions for everyday life.

Section 4-1

糖尿病昏睡 (高血糖昏睡)

Lilly

Index

- **ポイント**
- **糖尿病昏睡(高血糖昏睡)とは**
- **糖尿病昏睡(高血糖昏睡)の誘因**
- **糖尿病昏睡(高血糖昏睡)の症状**
- **糖尿病昏睡(高血糖昏睡)の治療**
- **糖尿病昏睡(高血糖昏睡)の予防**

ポイント

- **糖尿病昏睡(高血糖昏睡)とは**
インスリン作用が極度に不足したときに生じる高血糖に伴う高度の意識障害をいいます。
- **インスリン注射の中止、感染症、ストレス、過労、暴飲暴食などが誘因となります。**
- **全身倦怠感、口渇感、多尿、眠気、嘔気・嘔吐、腹痛、意識障害などの症状がみられます。**

ポイント

- **インスリン静脈内投与、輸液、電解質補正などによる治療を行います。**
- **糖尿病昏睡(高血糖昏睡)を予防するためには、普段から血糖コントロールを良好に保つ、感染症を十分に治療する、勝手な判断でインスリン注射を中止しないことなどが大切です。**

糖尿病昏睡(高血糖昏睡)とは

インスリンが極度に不足すると

ブドウ糖が細胞にとりこまれないため、結果的に血管内のブドウ糖濃度が高くなります(高血糖)。代わりにエネルギー源として脂肪が分解されます

高血糖のために尿が大量に出て、脱水になります

脂肪分解の結果、副産物であるケトン体が血液中に過剰に増えて血液が酸性になります(ケトアシドーシス)

脳の機能が低下して昏睡に陥ります

糖尿病昏睡(高血糖昏睡)の誘因

- **インスリン注射を自己判断で中止したり、量を減らした場合**
- **肺炎などの重い感染症**
- **過労**
- **ストレス**
- **暴飲暴食 など**

糖尿病昏睡(高血糖昏睡)の症状

- 全身倦怠感
- 口渇感
- 多尿
- 眠気
- 嘔気・嘔吐
- 腹痛
- 意識障害



糖尿病昏睡(高血糖昏睡)の治療

- **インスリン投与(静脈内投与)**
- **輸液(脱水の補正)**
- **電解質補正(Na、K、HCO₃、Ca、Pなど)**
- **原疾患(感染症など)の治療**
- **合併症の予防及び治療(脳浮腫、
脳梗塞、心筋梗塞、急性腎不全など)**

糖尿病昏睡(高血糖昏睡)の予防

- 普段から血糖コントロールを良好に保つ。
- 感染症を十分に治療する。
- 勝手な判断でインスリン注射を中止しない。



Personal solutions for everyday life.

Section 4-2

急性感染症



Index

- **ポイント**
- **なぜ感染症にかかりやすいのか**
- **糖尿病と関係の深い感染症**
- **感染症の予防と治療**

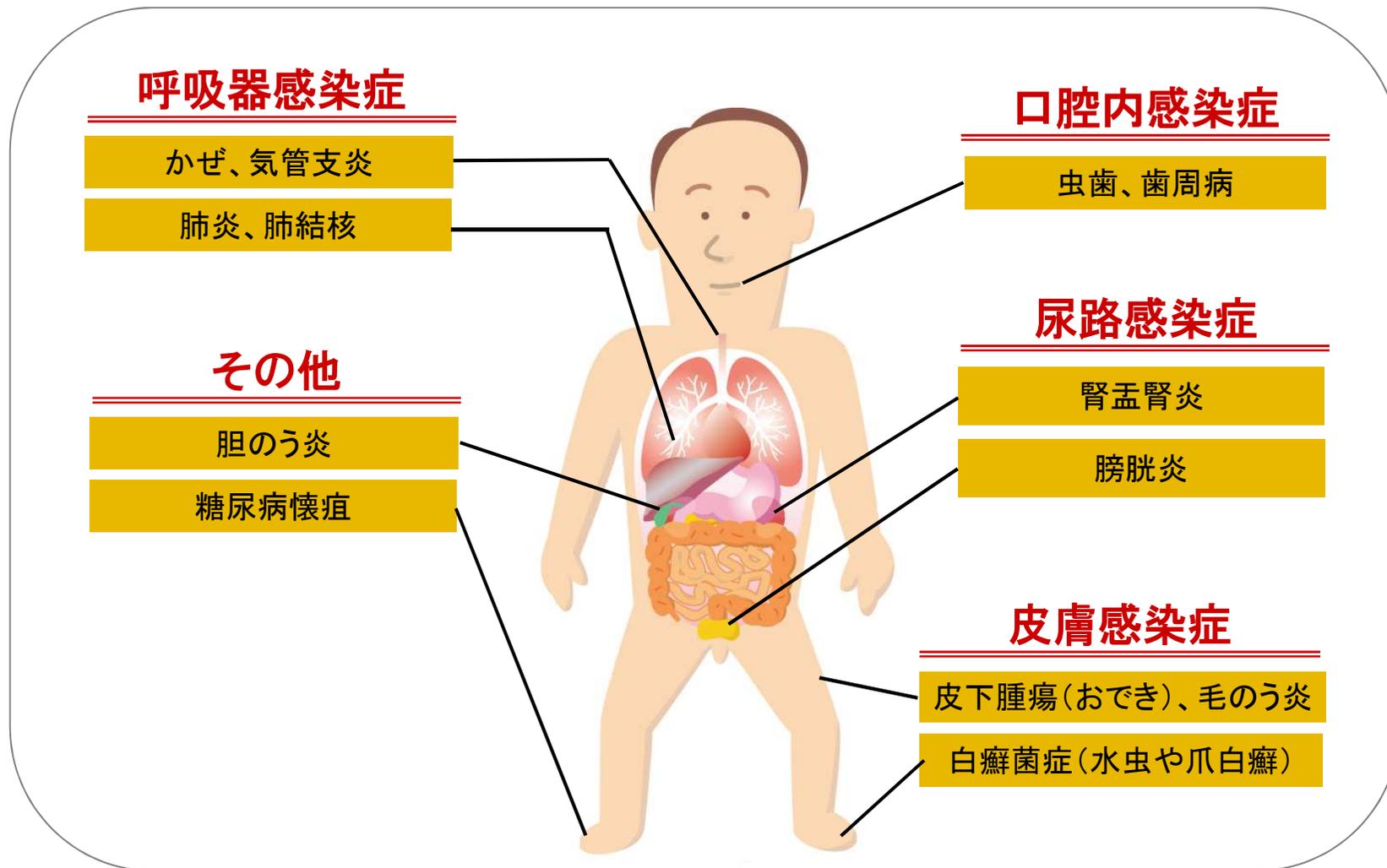
ポイント

- 糖尿病になると、細菌やウイルスなどに対する体の抵抗力が弱くなるため、かぜ、膀胱炎、皮膚炎などさまざまな感染症を起こしやすくなります。
- 予防には血糖管理と規則正しい生活が重要です。
- 感染症に対しては抗菌薬による治療を行います。

なぜ感染症にかかりやすいのか

- 血糖コントロールが悪いと、病原菌を撃退する白血球の働きが低下します。
- 血管障害によって血流が悪くなると、白血球が病変部に到達しにくくなります。
- 神経障害を合併している場合には、ケガや感染症の痛み気づかずに治療が遅れます。

糖尿病と関係の深い感染症



感染症の予防と治療

予 防

- 血糖コントロールを良好に保つ。
免疫システムがうまく働くよう、抵抗力を高めます。
- 予防接種を受けましょう。

治 療

抗菌薬や抗ウイルス薬
(インフルエンザの場合)を投与する。
細菌やウイルスを殺すか、
数が増えないようにします。



Personal solutions for everyday life.

Section 4-3

低血糖



Index

- **ポイント**
- **低血糖とは**
- **低血糖の誘因**
- **低血糖の症状**
- **低血糖の対処法**
- **無自覚低血糖症とは**
- **糖尿病カード(例)**
- **低血糖の予防**

ポイント

- **低血糖とは、血糖値が正常範囲以下にまで下がった状態です。**
- **低血糖を放置すれば昏睡に陥ることがあります。**
- **インスリンや経口血糖降下薬が多すぎたり、食事時間が不規則であったり、食事量が少ない場合などに起こります。**

ポイント

- 血糖値のレベルに応じてさまざまな症状が現れ、最終的には意識がもうろうとし、けいれん、昏睡に陥ります。
- 自分で気づいた場合には、砂糖や糖分を含んだジュースを飲みます。
- 意識がない場合には、第三者が糖分補給やグルカゴンを注射し、意識が戻らない場合は病院に運びます。

ポイント

- 予期せぬ事態に備え、
糖尿病カードを携帯しておきます。
- 予防には、規則正しい食事、
運動、分食の徹底、アメ玉などの
糖分の携帯を行います。

低血糖とは

- 低血糖とは、血糖値が正常範囲以下にまで下がった状態をいいます。
- 放置すれば昏睡に陥ることもある危険な状態です。



低血糖の誘因

- インスリンや経口血糖降下薬が多すぎたり、投与時間が守れなかった
- 食事時間の遅れや食事量の不足
- 激しい運動
- 飲酒
- 解熱剤、鎮痛剤の服用
- 下痢など胃腸の調子が悪い場合
- 肝臓、腎臓の機能低下



低血糖の症状

60~70 mg/dL

あくび、不快感、異常な空腹感、
考えがまとまらない



30~60 mg/dL

眠気、だるさ、吐き気、イライラ、目がちらつく、
頭痛、ふるえ、動悸、冷や汗、めまい、
脈拍が速くなる、顔面蒼白



30 mg/dL未満

意識がもうろう、異常行動、
意識喪失、けいれん、昏睡

低血糖の対処法

自分で気づいた場合

糖分を摂取(ブドウ糖10~20g)。ブドウ糖がなければ、糖分を含んだジュースでもかまいません。

α -グルコシダーゼ阻害薬(グルコバイ、ベイスン、セイブル)を服用しているときは砂糖をとっても効き目がすぐに現れないので必ずブドウ糖を服用してください。

意識がない場合

糖分やジュースを無理に口に入れると気管に入る可能性があるのを避けましょう。グルカゴン注射製剤を処方されている場合には、第三者が筋肉注射をしてください。意識が回復しなければなるべく早く病院へ運びます。

無自覚低血糖症とは

- 自覚症状が全く出ない低血糖発作をいいます。
- 前兆が無いため突然意識消失におちいることがあります。
- 第三者の助けを借りて適切な処置をしてもらうためにも、糖尿病カードを携帯しましょう。

糖尿病カード(例)

糖尿病カード見本

(表)

わたしは糖尿病です I HAVE DIABETES

わたしが意識不明になったり、様子がおかしいときは、わたしの携帯している砂糖（ブドウ糖）を食べさせるか、またはジュースなどの甘いものを飲ませてください。

それでも回復しないときは、裏面の医療機関に電話して、指示を受けてください。

(裏)

氏名： _____ 電話： _____

住所： _____

受診医療
機関名： _____ 主治医名： _____

カルテ番号： _____ 電話： _____

治療内容：

低血糖の予防

～重症発作を起こさないために～

- 規則正しい食事、運動療法を行います。
- 分食を徹底します。
- 低血糖症状の軽いうちに補食をします。
- 外出時等は糖分を必ず携帯します。
- 血糖自己測定器を持っている方は、可能であれば測定して低くならないうちに対処します。

